

## 共同運営部門：がん治療センター

### —概要—

がん治療センターの活動の一貫として、「がん治療検討委員会」を開催している。本委員会は、がん治療全般における円滑な治療の遂行及び適正な管理を行うことを目的としている。

「がん治療センター」は日本外科学会、日本消化器外科学会、日本乳癌学会をはじめ、各領域の悪性疾患治療に関する学会の指導医、専門医、認定医を配している。化学療法、分子標的治療等薬物治療や胸腔鏡、腹腔鏡などの低侵襲手術も積極的に行っている。その他、低侵襲治療として肝がんに対するラジオ波治療はもちろんのこと、早期乳がんに対しても前向き臨床試験など研究的治療としてラジオ波治療をおこなっている。

また、各種がんの診断治療においては、治験や全国規模の臨床試験に深く関与しており、エビデンス構築に貢献している。これらの実績を基盤とし、従来行なわれている進行癌に対する集学的治療に加えて、早期癌に対する新たな薬物治療、手術治療等に関しても、先進的な診断・治療を積極的に取り入れ、医療の質の向上に貢献している。また診断、治療の方針を決定し難い症例を中心にカンサーボードにて多数の診療科専門医をはじめ、多職種による検討を積極的に行っている。血液がんに関しては骨髓移植再開に向け準備中である。

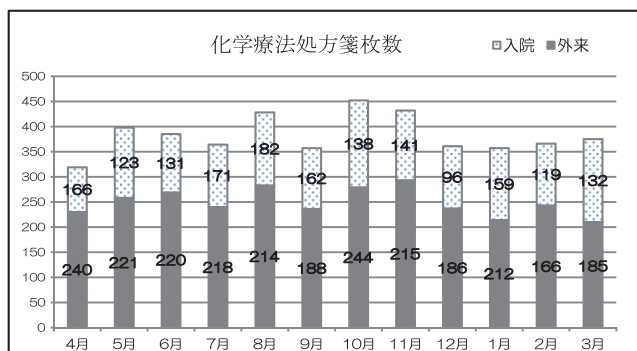
緩和ケアチームは週一回の病棟回診を行っており、がん性疼痛コントロールや精神的不安等の軽減のため多職種による検討を行ない方針を決定している。

### —実績—

#### 薬剤科からの報告

##### 化学療法処方箋枚数

	2013										2014				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
外来	240	221	220	218	214	188	244	215	186	212	166	185	2,509		
入院	166	123	131	171	182	162	138	141	96	159	119	132	1,720		
総数	406	344	351	389	396	350	382	356	282	371	285	317	4,229		
ミキシング本数	670	560	507	602	634	544	608	545	457	582	441	519	6,669		



#### 外来化学療法件数

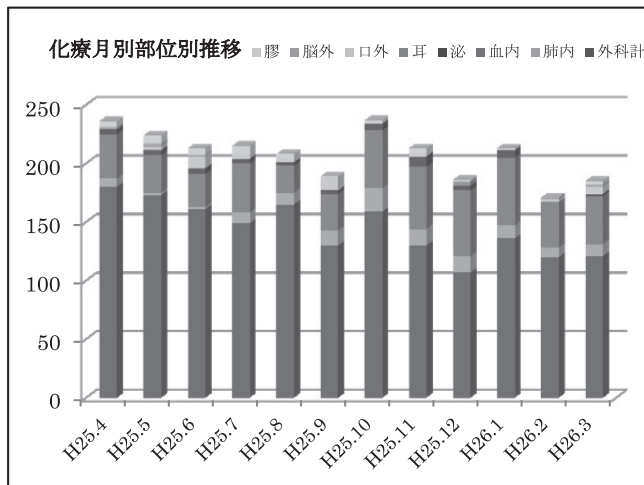
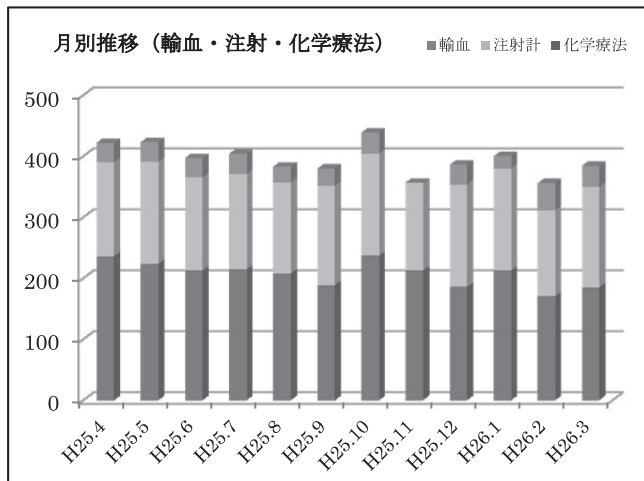
月	外(乳)	外(大腸)	外(胃)	外(膵)	外(他)	外科小計	肺内	血内	泌	耳	口外	脳外	膠	化療計
H25.4	84	53	18	24	1	180	7	38	4			2	5	236
H25.5	98	35	19	20	1	173	2	32	4	1	2	3	7	224
H25.6	83	45	17	16		161	2	28	5		10	1	6	213
H25.7	74	37	18	20		149	9	42	4		4		7	215
H25.8	89	43	18	13	2	165	10	23	3		3		4	208
H25.9	54	47	13	15	1	130	13	31	3		11		1	189
H25.10	67	63	15	14		159	20	49	6		2		1	237
H25.11	58	48	14	9	1	130	14	53	9		2		5	213
H25.12	42	45	9	11		107	14	56	4	3		1	1	186
H26.1	50	50	20	14	2	136	11	58	6			1	1	213
H26.2	47	47	12	14		120	8	39			2	2	0	171
H26.3	47	49	15	10		121	10	41	2		6	2	3	185
月平均						144								208
合計	793	562	188	180	8	1,875	120	490	50	4	42	12	41	2,490

月	リュプ・リン	ゾラデックス	コナックス	フェゾデックス	ゾメタ	レキード	ランマーク	注射計
H25.4	52	50	18	2	15	6	11	154
H25.5	49	58	16	5	23		16	167
H25.6	46	52	18	5	15	1	15	152
H25.7	47	60	15	6	15		13	156
H25.8	43	46	17	7	16	1	19	149
H25.9	51	53	15	5	20	1	18	163
H25.10	48	62	18	5	18		16	167
H25.11	45	53	13	3	13	1	15	143
H25.12	54	58	15	4	18		19	168
H26.1	45	64	15	4	17	1	21	167
H26.2	53	43	12	4	17		12	141
H26.3	54	56	18	2	20	2	13	165
月平均								158
合計	595	655	190	52	207	13	188	1,892

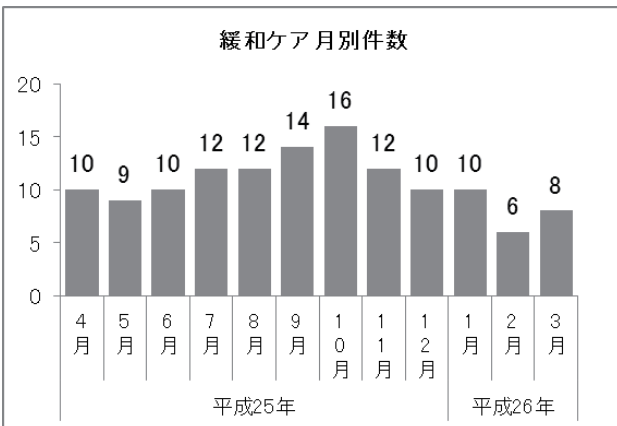
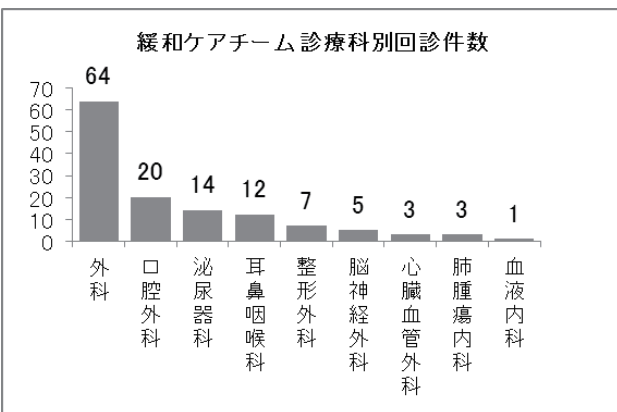
月	加算計	オリエンテーション	情報	自己抜去指導	ポート抜去	点滴	静筋皮下	輸血	合計
H25.4	390	15	20		7			32	464
H25.5	167	16	29		11		1	32	480
H25.6	152	13	15		8		1	32	434
H25.7	156	11	28	1	6	1	1	33	452
H25.8	149	7	19	3	8		1	26	421
H25.9	163	9	15	1	10		2	28	417
H25.10	167	19	31	3	16	4		35	512
H25.11	143	17	20	1	7			1	402
H25.12	168	7	10	2	7	1		32	413
H26.1	167	17	21		9		2	20	449
H26.2	141	10	15		10	7	1	44	399
H26.3	165	13	21		10		8	34	436
月平均	365							29.1	
合計	4,382	154	279	19	145	23	78	349	5,279

※加算計は化療計と注射計の合計療

※オリエンテーション：外来化学療法導入時の説明



## 緩和ケアチームからの報告



## 臨床研究状況（一部抜粋）

研究内容	予定被験者数
乳腺甲状腺等表在領域におけるソナゾイドRを用いた造影エコーの評価	100
乳癌に対する経皮的ラジオ波焼灼療法についての全国後ろ向き研究	150
転移・再発乳がんに対するタキサン系薬剤とティーエスワンのランダム化比較試験	10
「レトロゾールによる術前内分泌療法が奏効した閉経後乳癌患者に対する術後化学内分泌療法と内分泌単独療法のランダム化比較試験」	5
StageⅢ (Dukes' C) 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 JFMC37-0801	6
HER2 陽性の高齢者原発乳癌に対する術後補助療法におけるトラスツマブ単剤と化学療法併用に関するランダム化比較試験 N-SAS BC07	5
HER2 陽性の高齢者原発乳癌に対する術後補助療法における観察研究 N-SAS BC07	5
乳癌患者の多目的コホート研究 N-SAS BC07	5
転移・再発乳がんに対するアンスラサイクリン系薬剤とティーエスワン	5
乳癌患者における臨床試験参加・辞退の生存予後調査(Ⅱ)	10
HER2 陽性治癒切除不能進行・再発胃癌に対する Trastuzuma b +Capecitabine+Cisplatin 療法の安全性・有効性の検討～PhaseⅡ試験～	8
HER2 陰性が確認された切除不能進行・再発胃癌に対する Capecitabine+Cisplatin 療法の安全性・有効性の検討～PhaseⅡ試験～	8
イマチニブ治療により分子遺伝学的大寛解(Major Molecular Response;MMR)に到達している慢性期慢性骨髄性白血病患者を対象としたニロチニブの安全性と有効性を検討する多施設共同第Ⅱ相臨床試験	3
急性骨髄性白血病における遺伝子変異解析	20

## 委員構成

医師 (14名)	がん治療センター長兼外科主任部長	位藤 俊一
	救急診療部長兼脳神経センター長兼部長	森内 秀祐
	呼吸器センター長兼部長	桂 浩
	Acutecaresurgery 副センター長兼部長	山村 憲幸
	外科医長兼緩和ケアチームリーダー	西谷 暁子
	肺腫瘍内科部長	森山 あづさ
	膠原病内科部長	入交 重雄
	周産期センター産科医療センター長兼部長	荻田 和秀
	泌尿器科医長	森山 泰成
	耳鼻科部長	碓田 猛真
	血液内科部長	福島 健太郎
	歯科口腔外科部長	大前 政利
	中央放射線部長兼部長兼放射線治療センター長	櫻井 康介
	中央検査部長兼部長	今北 正美
看護師 (4名)	外来Eブロック	森 沙苗
	8階海側看護師長	射手矢 奈津子
	8階山側看護師長	高畠 麻由美
	8階山側看護師	杉野 幸恵
薬剤師 (2名)	薬剤部部長	森朝 紀文
	薬剤科主査	中川 直樹
MSW (1名)	MSW	下村 恭子
事務 (3名)	地域医療連携室室長	中西 賢
	診療情報管理係長	末福 美恵子
	医事係	坂田 祐美子

【がん治療検討委員会風景】



【がん治療検討委員会風景】



【緩和ケア回診・カンファレンス風景】

